

2022年3月28日  
東急建設株式会社  
東急リニューアル株式会社

## 廃棄物ゼロを目指した「リサイクル屋上緑化システム」を共同開発

### — 脱炭素・循環型経済の実現に向けて —

東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：寺田光宏、以下当社）と東急リニューアル株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：土田修）は、廃棄物を再資源化したセラミックスパネル※<sup>1</sup>を活用した「リサイクル屋上緑化システム」を共同開発しました。

この「リサイクル屋上緑化システム」は、東急リニューアルで既に販売している屋上緑化システム「クラピア屋上緑化」※<sup>2</sup>の基盤にリサイクル材を活用することで、廃棄物削減を実現する緑化システムです。今後、両社では、従来の「クラピア屋上緑化」に加えて、環境に配慮した当システムの販売を積極的に進めてまいります。

#### ※1 セラミックスパネル

染色排水の浄化過程で発生し廃棄物として処分されていた余剰バイオマスケイクを、能登産の珪藻土や粘土と混ぜ合わせ 1000℃以上の高温で焼き上げることで、植物の生育に適した機能を持つ超微多孔スポンジ状セラミック基盤「保水セラミックスパネル」です。内部に連続した細かい孔がびっしりと詰まったスポンジのような構造なので、吸水性や保水性にすぐれ、雨水だけで植物を種から育てることができます。しかも無機質・無害の素材で最後は土に戻せるので安心です。（セラミックスパネルは、株式会社トーケンの商品です）

#### ※2 クラピア屋上緑化

東急リニューアルで販売しているクラピアを用いた屋上緑化システムです。クラピアとは、イワダレソウを品種改良した植物で、茎葉が密に広がるため雑草も生え難く、メンテナンスコストが軽減できます。基盤の厚さも 100mm 程度で構成できるため、軽量化することができ、建物への積載荷重も軽減できます。

東急建設グループは、「脱炭素」「廃棄物ゼロ」「防災・減災」を3つの提供価値として長期経営計画の戦略の軸に据えており、当システムは、「脱炭素」「廃棄物ゼロ」に向けたソリューションのひとつとなります。今後さらに、東急建設グループの連携を強化させ、気候変動やそれらを含む SDGs などの社会課題解決に向け、技術開発を加速してまいります。

## ■システム概要

一般的な屋上緑化システムでは、植栽基盤の保水排水層としてプラスチック系の材料が用いられますが、当システムでは、脱炭素や循環型経済への取り組みとして、保水排水層にリサイクル材であるセラミックスパネルを活用しています。このセラミックスパネルは、内部に細かい空洞があるため高い保水性があり、植栽の保水基盤としても最適で、利用後は土に戻すことも可能です。

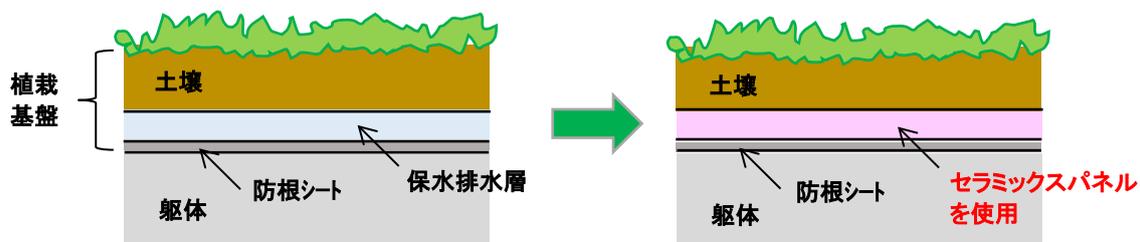


図1 植栽基盤の変更



図2 セラミックスパネル

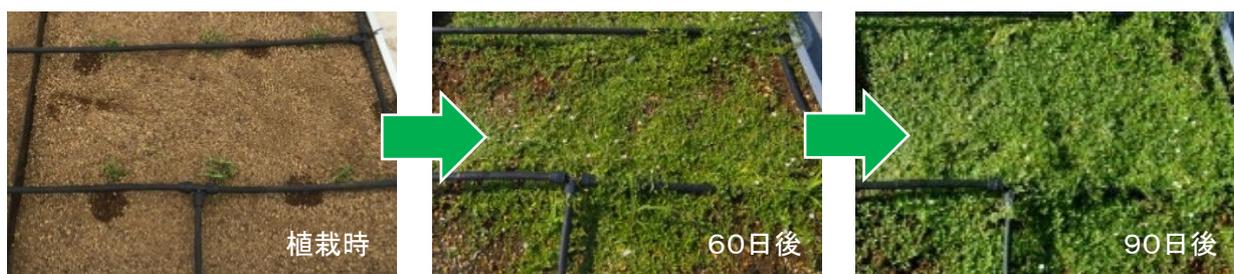


図3 生育状況

### 【本件に関する問い合わせ先】

東急建設株式会社 経営戦略本部経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ 西田  
TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: [webmaster@tokyu-cnst.co.jp](mailto:webmaster@tokyu-cnst.co.jp)

### 【サービスに関する問い合わせ先】

東急リニューアル株式会社 福田  
TEL : 03-5466-5961 E-mail : [kurapia@tokyu-renewal.co.jp](mailto:kurapia@tokyu-renewal.co.jp)

以上